



コメント 今年も暮れの風物詩として、100m道路沿いに、ドリミネーションが開催されている。15回目だそうだが、この時期、たくさんの市民や観光客でにぎやかになる。道路が渋滞して、タクシーが避けたがるのもわからなくもない。

私も3人目の子供出産のために今帰広中の娘と孫2名で訪れてみた。

娘は東京にいて、税理士として大手の税理士法人に勤務している。この度が3度目の育児休暇ということだ。

100人以上いる会社ではあるが、過去に3度も育児休暇を取ったのは二人目だそう。

鷹揚な会社である。親としてありがたいことであるが、もし私の事務所ならと考えるとぞっとする。

育児休暇も「保育園に入れない場合は最長2年まで延長する」というような内容が新聞に出ていた。

次世代を担う子供を社会全体で見守るようになるといいですね。

社長の仕事 税理士 大場史郎

トランプ氏が次期アメリカの大統領に決まった。

大手新聞社やマスコミの予想はほとんど当たらなかった。彼らの予想手法は無作為に選んだ相手に電話をかけたか、TV番組で視聴者に反応させたりして、意見を聞く。しかしこれらは家庭に固定電話があったり、TVがあることが前提になる。今やスマートフォンだけで済ませて、固定電話、新聞、TVを持たない、取らない人は多くいる。主に若者が多いのかもしれないが。

同じことは英国のEU離脱についても同じことがいえる。大方のマスコミの予想は残留だったが、結果は反対だった。

更に想定外の事態になって、経済に悪影響が出るとマスコミは予想したし、私も含め、多くの人はそう思った。

ところが、トランプ氏の掲げる、国内雇用維持のための財政支出を増やし、減税を行うという政策に反応して、ドルは上がり、アメリカの株価も最高値を更新している。

英国もEU離脱を発表して、株価は一時的に下がったが、同時にポンドも下がり、むしろ企業の輸出も増え、外人観光客も増えている。

日本でも、ドル高により、逆に円安に戻り、株価が再び18,000円台に回復した。これもトランプ効果か。

イスラム過激派、シリアの紛争、それに端を発した難民の欧州への殺到、それを嫌ったイギリスのEU離脱、メキシコに壁を作らせると非現実的なことを掲げて、当選したトランプ氏、これからしばらくは世界はますます内向きになっていくようだ。しかし、これは長い目で見たら、むしろ時代に逆行している。

お隣韓国では朴槿恵大統領が退陣するのがほぼ確実視されている。今後職権乱用等の罪で逮捕、起訴されるのだろう。これも韓国の大統領の退任後のお決まりのコースか。せっかく慰安婦問題も解決し、日韓関係も改善するかに思えたが、元に戻りそうな雰囲気だ。

さて、今年は皆様にとって、どんな年でしたか？ 皆様の決算書を拜見する限り、好調な会社が多かったように思えます。

しかし、大企業は、国の法人税収が減っているところを見ると、陰りが出てきているようだ。

また、個人では相続税の改正で、控除額が6割に減ったため、相続税を申告することが増えました。

来年は世界中が内向きになっていくのだろうか、またどんな想定外のことが起きるのだろうか。

皆様、よいお年をお迎えください。